

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 1月 16日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3493500064		
法人名	株式会社 楽生舎		
事業所名	グループホームつつじの家		
所在地	広島県山県郡北広島町壬生915-1 (電話) (0826) 72-7575		
自己評価作成日	平成24年7月31日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成24年9月14日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>小学校などの施設も近くにあり、ホームの前が通学路になっている為、児童とのふれあいもとりに易い環境になっている。中庭には小さな家庭菜園があり、野菜作りをすることもできる。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホームつつじの家（以下、ホーム）は、北広島町壬生の中心地にあります。事業所の周辺には畑や水田があり、静かで環境が良いところです。隣接地には同じ法人が運営する病院や介護保険施設等があります。</p> <p>隣接の訪問看護ステーションとの契約で、週1回看護師による健康チェックや医療的なアドバイスが行われているほか、緊急時や看取りの場合には24時間対応をされています。</p> <p>地元中学生2人が5日間補助的なケア業務に就く「職場体験」は、年中行事として定着しています。入居者は、子どもたちとの交流を大変楽しみにされています。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(1ユニット)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日の朝礼で基本理念と接客用語の唱和を行い、目標を確認しながら統一したケアが行えるようにしている。	理念は「人間としての尊厳を守る、プライバシーの尊重、買い物や外出など市民としての生活の継続」等です。事業所内にも掲示され、職員も入居者本意のケアに取り組まれています。理念を浸透させるため、毎日の朝礼でも確認されています。	現在の理念は、創設時のままです。開所10年以上が経過し、入居者の高齢化や認知症の状況も変わってきています。一度、現状と理念を見比べ、変更についての要否を検討されることを期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の方に気軽に訪ねてもらえるように行事には出来るだけ挨拶を交わしたり、世間話をしたりと日常的な付き合いに努めている。	ホーム周辺の入居者が多く、散歩の時に近隣住民に挨拶をされています。また、入居者によっては担当民生委員児童委員が面会に来ている事例もあります。世界遺産の花田植えの飾り牛の「お通り」を近所の家で見学されています。また、ふれあい秋祭りに入居者が制作したちぎり絵を出品されます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所へのサービス利用の相談に応じている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を大切にして、会議で行った意見交換の内容についてホームのスタッフと改善策について話し合いサービス向上に努めている。	運営推進会議は、概ね2か月に1回開催されています。ホーム関係者以外に家族代表、民生委員・児童委員、地域包括支援センター職員で利用状況、職員研修、苦情案件、ヒヤリハット事例などの報告や検討が行われています。また、近々「看取り対応方針」が提案されることになっています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議へ参加を呼びかけ情報交換に努めている。	町職員が、推進会議に出席して運営状況の確認をされています。町主催の認知症サーポーター養成研修に参加協力をされています。このほか、町役場主催の地域ケア会議で行われる事例検討にも参加されています。	在宅認知症高齢者の増加状況を勘案すると、ホームを認知症高齢者の相談機関として位置づけることへの提案や、町民向け研修会の開催など、ホームの強みを活かしながら、地域に貢献できることを行政と共に検討されることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関するマニュアルを全職員がいつでも閲覧できる場所に設置している。</p> <p>玄関先に道路がある為、安全面を考慮して、入居者・家族に許可を得て内ドアを施錠する場合もある。</p>	<p>身体拘束をしないケアについては、研修会を通じて職員に周知し、拘束をしないケアに取り組まれています。</p> <p>ホームの玄関先は見通しの良い道路です。安全確保のため、入居者、家族の了解を得て施錠されることもあります。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部での勉強会などに参加し、職員へ伝達することにより職員一人一人が意識しながら取り組むようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会により制度については学ぶ機会を持っている。現在、対象者はいないが必要に応じて支援できるよう努めて行きたい。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居の際には契約書の説明を書面と口頭で行うと共に、家族の質問にしっかり答えるように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>普段のコミュニケーションや、表情の観察から入居者の思いを読み取りサービスに反映している。また、玄関にアンケートボックスの設置、面会簿に御意見・御要望記入欄を設け、迅速な対応を心がけている。</p>	<p>日頃から家族が意見を言いやすい雰囲気づくりに努力されていますが、意見がないのが現状です。今年4月には、家族の希望により看取りが行われました。次回家族会では、看取りの対応方針を協議される予定となっています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全体会等、話し合いの場を持ち意見を聞き入れるようにしている。</p>	<p>毎月、職員全員が参加する全体会が開催されています。ヒヤリハット事例の検討、ケアプランの進行状況などについて検討されています。</p> <p>最近では、職員からトイレの消毒についての改善提案があり、すぐに実行に移されています。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人内の部署別発表会などで取り組みについて発表を行なうことで個人の意欲向上・チームとしてのケアや意欲の向上を図っている。又、グループ内に託児所もあり育児をしながら働ける環境や家庭内の事情などによる長期休暇についても柔軟に配慮できる体制をとっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内では定期的に研修を行っており、事業所内でも全体会で研修機会を設けている。資格の取得に関しても勉強会を開くなどしてサポートに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>各種サービス事業所が日々の業務やサービスの中で成果をあげた内容を発表する部署別発表会などを行い、各事業所のサービスの質の向上に反映している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時に本人やご家族からの情報収集を行いアセスメントをとっている。必要なケアが行えるよう職員同士情報を共有しながら取り組むようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	入居時または面会の際など、ご家族の要望を受けるように心掛けている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	入居者やご家族からの情報収集を行っている。統一したケアが行えるよう職員が情報を共有しながら取り組んでいる。		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	入居者と一緒に日々の生活を共にし、昔行っていた家事や仕事、趣味など培ったものを教えていただきながらよりよい関係を築けるよう心がけている。		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	ご家族には入居者の近況を定期的に伝えている。また、必要に応じて他の病院の受診など一緒に本人を支えて行けるよう関係作りに努めている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	本人やご家族からの情報収集により馴染みの関係や場所の把握に努めている。	ホーム周辺の入居者が多いこともあり、馴染みのある近所の神社にお参りに行かれています。また、以前から利用されている美容院に行く入居者もあります。面会者は、友だちや家族が中心です。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活の中で入居者同士の会話を取り持ちトラブルを防ぐよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も、関連事業所を利用されることが多く入居者やご家族との交流は努めていけるようにしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活背景や家族からの聞き取りなどから一人一人の思いや暮らし方の希望、意向を汲み取り支援している。毎日の体調や状況に応じて、本人本位になるよう支援しているが、困難な場合は本人本位に検討し適切に適切に支援している。	認知症が進み、思いや意向の把握が難しくなっていますが、日々の様子や体調を見ながら支援されています。入居者の不安や苦痛と感ずること、安心や快感と感ずること、やりたいことを事前に把握し、特にその入居者にとって不安や苦痛を感じないような工夫をされています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	関連事業所やご家族からの聞き取りなどを行い入居者の情報収集に努めている。可能であればご本人からの聞き取りもあわせて行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の身体状態や生活リズムの観察を行い、それぞれにあった生活をしていただくよう現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者ごとに担当の職員を決め、本人の状態を把握している。介護計画の作成には日ごとの状態を家族・介護支援専門員・介護職員、その他関係職員で話し合い全職員で検討し本人の意向に沿った介護計画を作成している。</p>	<p>モニタリングは1か月ごとに実施されています。特段の変化がない場合は、6か月ごとにケアプランの見直しをされています。プランの見直しには、職員全員が参加し、困っていることを解決する方向で検討されています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常の様子や変化を日々記録している。必要事項は申し送りやカンファレンスで情報を共有し見直しに活かせるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>関連事業所と常に連携をとりながら、情報の共有を行い、入居や退去などの対応ができるようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>法人での取り組みとして、民生委員との定期的な話し合いや、必要に応じて行政・消防機関の方に運営推進会議の参加を依頼し、情報交換を行っている。また、各事業所のサービス説明を行い、必要なサービスに繋げていけるような関係作りに取り組んでいる。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居者の主治医が継続でき、かかりつけの病院が受診できるように努めている。現在入居されている方はグループ内の病院を主治医とされている方が多く、ご家族の要望もあり継続して診ていただいている。</p>	<p>かかりつけ医は、家族、本人が希望する医師とされています。入居者の多くが隣接する病院の医師がかかりつけ医であり、ホームとの連携が取りやすい環境です。また、専門治療が必要な場合は、家族の付き添いで別の医療機関を受診されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>医療連携体制をとっており、契約を交わした訪問看護ステーションの看護師が定期的に訪問し利用者の体調管理・医療的なアドバイスや相談援助を行なっている。また、緊急時や日祭日もすぐに連絡できる体制をとっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>日頃から、情報交換を行っており、入院があった際は特に状態の把握に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化した場合については、ご家族とも折を見て話し合う機会を設けている。終末期のケアのあり方についてはご家族の要望を考慮しながら主治医とも連携を図りながら行なっている。また、医療連携をとっている訪問看護師と対応指針を作成しご家族に対し同意書による同意もとっている。</p>	<p>今年4月、入居年数の長い入居者家族からの希望を受け、医師との連携のもと、初めて看取りを経験されました。職員の心構え等については研修を実施し、落ち着いた対応で臨まれました。次回の家族会では、ホームの看取り方針を説明し、受け入れを表明される予定です。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>急変や事故発生に対するマニュアルを備え付け連絡手順や対処法などを記しており、全職員が閲覧できる場所に設置している。また、訪問看護師の訪問時に医療的アドバイスを受たり内部研修で心肺蘇生法の講習をうけている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>地域の方と協力協定を結んでおり、定期的に合同で避難訓練を行なっている。実際に職員だけの訓練とせず、入居者にも参加していただくことで、地域の方へもどんな方がいらっしゃるか理解頂けると思う。</p>	<p>想定される災害は、火災、水害、地震です。防災訓練は、他のグループ施設と協同で年2回実施されています。訓練には職員、入居者のほか、消防署、消防団、地域の消防ボランティアも参加されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人情報の取り扱いの方針を事業所内に掲示し、個人情報の保守や入居者の尊厳の保持を常に心がけながら日々のケアに努めている。記録等の取り扱いも配慮しながら行なっている。	高齢者の尊厳の確保とプライバシーの保護について今年4月に研修を行い、職員に周知されています。日頃の言葉かけ、入室時の声のかけ方、トイレ介助には特に気をつけておられます。また、職員としての基本的マナーや身だしなみについても指導されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者の表情や言動などから、思いや意思が汲み取れるような働きかけや声掛けを行なっている。入居者の自己決定を尊重できるよう支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者のその日の状態に応じて、本人のペースや要望に合わせて生活していただけるよう、支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	地元の理容院にご協力いただき定期的に理容院に直接行くことができない方に対しては出張していただいている。また、本人やご家族の希望に応じて行きつけの理容院を続けて利用していただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	事業所の理念が『食』であり、副食は関連の益水興産より提供していただいている。主食は米とぎから行い、片付け・台拭き・膳拭き等、出来る事を入職員と協力しながら行なってもらう。また、月2回季節に応じたオヤツ作りを行い、調理の機会をもうけている。	食事はグループ会社で調理されたものをホームで盛り付けて提供されています。必要に応じてミキサー食や骨抜き魚が提供されています。食事介助は職員が横に座って話をしながらゆったり行われています。配膳や片づけができる入居者は手伝いをされています。また、昔のおやつをみんなで一緒に作ったりもされます。	食事を摂る時は、車椅子から椅子に座り替え正しい姿勢で食事をされることを期待します。また、味付け等について確認する意味でも、職員が同じものを食べることも重要ですので、実施されることを望みます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	栄養バランス、必要カロリーを考慮した食事を一人一人の摂取量に合わせて配膳を行い、摂取量の確認を行ないながら状態の観察に努めている。水分摂取量も都度確認をしながら脱水予防に努めている。水分を摂取しにくい方は好み。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後、個人の能力に合わせてながら、口腔ケアの声掛けや介助を行っている。口腔ケアを行うとともに口腔内の状態の観察や義歯が合うかどうかの観察も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人一人の排泄パターンを把握し、残存能力を活かしつつ声掛けや誘導など統一したケアが行えるように努めている。また、病気などで一時的にオムツを使用する場合は状態回復後に以前の状態に戻せるように努めている。	排泄自立に向けて、随時トイレ誘導をされていますが、入居者の高齢化もあり、間に合わない場合があります。トイレでの排泄を大切にしながら紙パンツ、パットを安心のために使用される入居者もおられます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事・オヤツ以外にも適宜水分摂取出来るよう促している。水分の入りにくい方には好みの飲み物を用意するなどの工夫を行っている。散歩など適度な運動を促しながら、必要に応じて内服や座薬、オリゴ糖を服用するなど、入居者の状態に合わせたコントロールを行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	入居者の体調や希望に応じて入浴を行うようにしている。発汗や排泄等汚染の際もシャワー浴も行ったりにするように柔軟に対応できるように心がけている。	毎日、午後が入浴の時間帯となっています。週2～3回入浴されています。家庭風呂と同じ設備ですが、風呂の縁が高いため、入りやすい高さに改造工事が行われていました。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活習慣にあわせ起床・就寝など柔軟に対応している。居室の室温なども季節に応じて管理するなど入眠しやすい環境づくりにも努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方指示書や医師からの指示により内服の用法・用量等の理解に努めるとともに、入居者の状態の把握を行っている。配薬が必要な方に対しては一日分ずつケースへ入れて誤薬の無いよう名前を確認しながら確実に投薬を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	生活歴や趣味などを活かしてご本人の希望に応じ畑仕事や掃除を行っている。役割のある方は、安全面注意して無理なく継続できるように援助を行なっている。娯楽や楽しみにも重点を置き歌や散歩、ゲームなど行えるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出を希望される入居者には職員が同行し、安全に配慮しながら外出を楽しんでいる。また、散歩やドライブ、買い物など介護者側から定期的なアプローチも行っている。	天気の良い日は、近くのサンサン広場まで車椅子の入居者も一緒に散歩するのが日課です。また、車椅子入居者が増えたため、グループ内の事業所から特殊車輛を借りて花見や近郊に出かけておられます。日常の買い物は、近くのスーパーマーケットに出かけています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族と相談の上、個人管理が可能な方は、自己管理をしていただき、紛失される可能性のある方は、ご本人の了承の下、事業所で管理している。必要な際には、お金をお渡しし、買い物が可能な方は、買い物に同行するなどの援助をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人からの要望に応じ、可能な方には直接電話をかけ話していただいている。かけるのが難しい方には番号を押すなどの支援をしている。手紙も要望があれば、投函なども支援している</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ブラインドや空調による光や温度の調節を行うとともに、玄関先や中庭などに花を植えたりして季節感を感じられるような工夫をしている。</p>	<p>ホームは南向きで日当たりが良い場所にあります。各階とも中央にある居間では、昔の演歌などが静かに流されています。掲示板には行事写真などが掲示されています。また、セラピー犬が入居者の癒しになっています。外には畑、花壇もあります。が作れる人が少なくなりつつあります。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人になれたり、気の合った入居者同士で思い思いに過ごせるように考えてソファの配置をしている。入居者が居室から出てきて自然に話ができる等、ホールを憩いの場としている。また、気の合った入居者同士と一緒に過ごせるよう考慮して食堂の席を配置している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室のベットやチェストは備え付けのものがあるが、その他の小物などは入居者の好みなどに合わせて自由に持ち込んでいただいている。</p>	<p>居室は全室南向きで窓も大きく快適です。幅広いチェストが備え付けられ、その上に家から持ち込まれたテレビ、時計、写真などが飾られています。また、居室の壁には大きな掲示板があり、思い出の家族写真などが貼られています。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>入居者が安全に家事などの役割をしたりして生活できるよう整理するなどの環境整備に努めている。また、居室やトイレがわかりにくい方に対しては、見えやすく大きく名前を書くなど配慮している。</p>		

V アウトカム項目(1ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営(2ユニット)					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日の朝礼で基本理念と接客用語の唱和を行い、目標を確認しながら統一したケアが行えるようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の方に気軽に訪ねてもらえるように行事には出来るだけ挨拶を交わしたり、世間話をしたりと日常的な付き合いに努めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	事業所へのサービス利用の相談に応じている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を大切にして、会議で行った意見交換の内容についてホームのスタッフと改善策について話し合いサービス向上に努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議へ参加を呼びかけ情報交換に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関するマニュアルを全職員がいつでも閲覧できる場所に設置している。</p> <p>玄関先に道路がある為、安全面を考慮して、入居者・家族に許可を得て内ドアを施錠する場合もある。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部での勉強会などに参加し、職員へ伝達することにより職員一人一人が意識しながら取り組むようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会により制度については学ぶ機会を持っている。現在、対象者はいないが必要に応じて支援できるよう努めて行きたい。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居の際には契約書の説明を書面と口頭で行うと共に、家族の質問にしっかり答えるように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>普段のコミュニケーションや、表情の観察から入居者の思いを読み取りサービスに反映している。また、玄関にアンケートボックスの設置、面会簿に御意見・御要望記入欄を設け、迅速な対応を心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全体会等、話し合いの場を持ち意見を聞き入れるようにしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>法人内の部署別発表会などで取り組みについて発表を行なうことで個人の意欲向上・チームとしてのケアや意欲の向上を図っている。又、グループ内に託児所もあり育児をしながら働ける環境や家庭内の事情などによる長期休暇についても柔軟に配慮できる体制をとっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内では定期的に研修を行っており、事業所内でも全体会で研修機会を設けている。資格の取得に関しても勉強会を開くなどしてサポートに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>各種サービス事業所が日々の業務やサービスの中で成果をあげた内容を発表する部署別発表会などを行い、各事業所のサービスの質の向上に反映している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時に本人やご家族からの情報収集を行いアセスメントをとっている。必要なケアが行えるよう職員同士情報を共有しながら取り組むようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居時または面会の際など、ご家族の要望を受けるように心掛けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居者やご家族からの情報収集を行っている。統一したケアが行えるよう職員が情報を共有しながら取り組んでいる。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者と一緒に日々の生活を共にし、昔行っていた家事や仕事、趣味など培ったものを教えていただきながらよりよい関係を築けるよう心がけている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族には入居者の近況を定期的に伝えている。また、必要に応じて他の病院の受診など一緒に本人を支えて行けるよう関係作りに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人やご家族からの情報収集により馴染みの関係や場所の把握に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日々の生活の中で入居者同士の会話を取り持ちトラブルを防ぐよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後も、関連事業所を利用されることが多く入居者やご家族との交流は努めていけるようにしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活背景や家族からの聞き取りなどから一人一人の思いや暮らし方の希望、意向を汲み取り支援している。毎日の体調や状況に応じて、本人本位になるよう支援しているが、困難な場合は本人本位に検討し適切に適切に支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	関連事業所やご家族からの聞き取りなどを行い入居者の情報収集に努めている。可能であればご本人からの聞き取りもあわせて行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	個々の身体状態や生活リズムの観察を行い、それぞれにあった生活をしていただくよう現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者ごとに担当の職員を決め、本人の状態を把握している。介護計画の作成には日ごろの状態を家族・介護支援専門員・介護職員、その他関係職員で話し合い全職員で検討し本人の意向に沿った介護計画を作成している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常の様子や変化を日々記録している。必要事項は申し送りやカンファレンスで情報を共有し見直しに活かせるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>関連事業所と常に連携をとりながら、情報の共有を行い、入居や退去などの対応ができるようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>法人での取り組みとして、民生委員との定期的な話し合いや、必要に応じて行政・消防機関の方に運営推進会議の参加を依頼し、情報交換を行っている。また、各事業所のサービス説明を行い、必要なサービスに繋げていけるような関係作りに取り組んでいる。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居者の主治医が継続でき、かかりつけの病院が受診できるように努めている。現在入居されている方はグループ内の病院を主治医とされている方が多く、ご家族の要望もあり継続して診ていただいている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>医療連携体制をとっており、契約を交わした訪問看護ステーションの看護師が定期的に訪問し利用者の体調管理・医療的なアドバイスや相談援助を行なっている。また、緊急時や日祭日もすぐに連絡できる体制をとっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>日頃から、情報交換を行っており、入院があった際は特に状態の把握に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化した場合については、ご家族とも折を見て話し合う機会を設けている。終末期のケアのあり方についてはご家族の要望を考慮しながら主治医とも連携を図りながら行なっている。また、医療連携をとっている訪問看護師と対応指針を作成しご家族に対し同意書による同意もとっている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>急変や事故発生に対するマニュアルを備え付け連絡手順や対処法などを記しており、全職員が閲覧できる場所に設置している。また、訪問看護師の訪問時に医療的アドバイスを受たり内部研修で心肺蘇生法の講習をうけている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>地域の方と協力協定を結んでおり、定期的に合同で避難訓練を行なっている。実際に職員だけの訓練とせず、入居者にも参加していただくことで、地域の方へもどんな方がいらっしゃるか理解頂けてると思う。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人情報の取り扱いの方針を事業所内に掲示し、個人情報の保守や入居者の尊厳の保持を常に心がけながら日々のケアに努めている。記録等の取り扱いも配慮しながら行なっている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者の表情や言動などから、思いや意思が汲み取れるような働きかけや声掛けを行なっている。入居者の自己決定を尊重できるよう支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者のその日の状態に応じて、本人のペースや要望に合わせて生活していただけるよう、支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	地元の理容院にご協力いただき定期的に理容院に直接行くことができない方に対しては出張していただいている。また、本人やご家族の希望に応じて行きつけの理容院を続けて利用していただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	事業所の理念が『食』であり、副食は関連の益水興産より提供していただいている。主食は米とぎから行い、片付け・台拭き・膳拭き等、出来る事を入職員と協力しながら行なってもらう。また、月2回季節に応じたオヤツ作りを行い、調理の機会をもうけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>栄養バランス、必要カロリーを考慮した食事を一人一人の摂取量に合わせて配膳を行い、摂取量の確認を行ないながら状態の観察に努めている。水分摂取量も都度確認をしながら脱水予防に努めている。水分を摂取しにくい方は好み。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後、個人の能力に合わせながら、口腔ケアの声掛けや介助を行っている。口腔ケアを行うとともに口腔内の状態の観察や義歯が合うかどうかの観察もしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人一人の排泄パターンを把握し、残存能力を活かしつつ声掛けや誘導など統一したケアが行えるように努めている。また、病気などで一時的にオムツを使用する場合は状態回復後に以前の状態に戻せるように努めている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事・オヤツ以外にも適宜水分摂取出来るよう促している。水分の入りにくい方には好みの飲み物を用意するなどの工夫を行っている。散歩など適度な運動を促しながら、必要に応じて内服や座薬、オリゴ糖を服用するなど、入居者の状態に合わせたコントロールを行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入居者の体調や希望に応じて入浴を行うようにしている。発汗や排泄等汚染の際もシャワー浴も行ったりするように柔軟に対応できるように心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活習慣にあわせ起床・就寝など柔軟に対応している。居室の室温なども季節に応じて管理するなど入眠しやすい環境づくりにも努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方の指示書や医師からの指示により内服の用法・用量等の理解に努めるとともに、入居者の状態の把握を行っている。配薬が必要な方に対しては一日分ずつケースへ入れて誤薬の無いよう名前を確認しながら確実に投薬を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	生活歴や趣味などを活かしてご本人の希望に応じ畑仕事や掃除を行っている。役割のある方は、安全面注意して無理なく継続できるように援助を行なっている。娯楽や楽しみにも重点を置き歌や散歩、ゲームなど行えるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出を希望される入居者には職員が同行し、安全に配慮しながら外出を楽しんでいる。また、散歩やドライブ、買い物など介護者側から定期的なアプローチも行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族と相談の上、個人管理が可能な方は、自己管理をしていただき、紛失される可能性のある方は、ご本人の了承の下、事業所で管理している。必要な際には、お金をお渡しし、買い物が可能な方は、買い物に同行するなどの援助をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人からの要望に応じ、可能な方には直接電話をかけ話していただいている。かけるのが難しい方には番号を押すなどの支援をしている。手紙も要望があれば、投函なども支援している</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ブラインドや空調による光や温度の調節を行うとともに、玄関先や中庭などに花を植えたりして季節感を感じられるような工夫をしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人になれたり、気の合った入居者同士で思い思いに過ごせるように考えてソファの配置をしている。入居者が居室から出てきて自然に話ができる等、ホールを憩いの場としている。また、気の合った入居者同士と一緒に過ごせるよう考慮して食堂の席を配置している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室のベットやチェストは備え付けのものがあるが、その他の小物などは入居者の好みなどに合わせて自由に持ち込んでいただいている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>入居者が安全に家事などの役割をしたりして生活できるよう整理するなどの環境整備に努めている。また、居室やトイレがわかりにくい方に対しては、見えやすく大きく名前を書くなど配慮している。</p>		

V アウトカム項目(2ユニット)			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームつつじの家

作成日 平成 25 年 2 月 1 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念が開所当時のままで、現在の入居者にとって適切か検討が必要	現状に合わせた理念の構築	理念の見直しについて検討	H24年10月～ H25年3月
				理念の構築	H24年10月～ H25年9月
				理念に基づくケアの共有実践	H24年10月～ H25年9月
2	13	入居者に対して適切なケアができているか不安がある	認知症についての知識向上	認知症についての勉強会をホーム独自で開催する	H24年10月～ H25年9月
				勉強会で学んだ事の実践	H24年10月～ H25年9月
3	5	認知症高齢者の相談できる場所として地域が周知できていない	認知症の相談機関としての位置づけ	町行政と協力し認知症の人の理解や支援の方法を地域に発信する	H24年10月～ H25年9月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。